

伝統の

松本城清掃

11月28日の午後、本校の伝統行事である松本城清掃を全校で実施しました。澄んだ空と夕月に照らされた松本城のもと、一人一人が役割を果たしながら熱心に活動しました。前日の雨で重くなった落ち葉を苦労しながら運ぶ姿からは、地域に貢献しようとする前向きな姿勢が感じられました。また、作業の間には観光客との交流も生まれ、温かなふれあいが松本城周辺の雰囲気をも明るく彩りました。



11月27日の5・6時間目には、全校人権講話を行いました。テーマは「私たちは『いじめ』とどう向き合うか」でした。講師には、いじめによってお子さんを亡くされた武井美千代さんをお迎えし、ご自身の体験をもとに、いじめがもたらす深い悲しみや、向き合わざるを得なかった苦悩についてお話しいただきました。

講話の中で武井さんは、「誰一人取り残されることなく、一人一人が自分らしく生きる権利が尊重される場として、学校は本当に機能しているのか」と問いかけられました。また、基本的人権が守られる社会をつくるために、私たち一人一人が何をすべきかを考える重要性についても語られました。日々の学校生活の在り方や、人を思いやる行動の大切さについて、改めて深く考えさせられる時間となりました。

全校人権講話

